

天地の煌めき

伍芳 with 松村組

【出演】

伍芳（中国古箏）、松村公彦（和太鼓、マリンバ）、
木村優一（和太鼓）、渡部勝喜（ケーナ、チャランゴ）

2010年 10月 24日(日) 16:00 開演(15:30 開場)



神戸新聞松方ホール

TEL 078-362-7191

JR 神戸駅下車、ハーバーランド内 阪急百貨店西隣、神戸情報文化ビル（カルメニ）4階

<http://www.kobe-np.co.jp/matsukata/>

チケット 全席指定・税込（未就学児童の入場はご遠慮ください）

前売 ¥4,500 当日 ¥5,000 松方ホール友の会会員 ¥4,000（前売のみ）

チケット
取扱所

松方ホールチケットオフィス 078-362-7191

神戸国際会館ブレイガイド 078-230-3300

サウンドアイ 078-856-5806

ローソンチケット 0570-084-005 (Lコード53707)

0570-000-777 (オペレーター予約・10時~20時)

古箏は天にのぼる龍をイメージして作られた楽器で、

太鼓は大地の音のように人の願いを伝える楽器。

そして笛は古来より、

人智を超えた存在を「呼ばう」ものとして位置づけられ、

此岸と彼岸を結ぶものとして機能してきました。

今年、震災 15 年目になります。そんなことも心におきながら、

それぞれの楽器で天と地のいろんな自然の景色を表現して、

人々の願いを伝えるようなコンサートにしたいと思います。

中国古箏奏者 伍芳

伍芳（ウー・ファン）

中国古箏演奏家、作曲家。

中国・上海生まれ。9歳より中国古箏の第一人者より手ほどきを受ける。1990年上海音楽学校を首席で卒業し、來日。1996年9月に東芝EMIよりデビューアルバム「箏心」をリリースする。日本における現在の中国楽器ブームの先駆けとなる。ケニーG氏、南こうせつ氏、東儀秀樹氏（雅樂師）、木乃下真市氏（津軽三味線）、溝口肇（チェロ）など内外の数々のアーティストと共に演。2010年上海万博で2日間に渡り、演奏する。今までに9枚のアルバムを発売。独自の音楽世界＜ウー・ファンワールド＞を展開し、その確実なテクニックと美しい音色で聴衆を魅了し続けている。

木村優一

1976年神戸生まれ。高校在学中に松村公彦と出会い和太鼓をはじめる。卒業後、時勝矢一路氏率いるグループにて、3ヵ月半のヨーロッパツアーに参加。帰国後「和太鼓松村組」の発足に加わる。林英哲氏プロデュースによる「英哲風雲の会」にも参加し、全国各地のイベントやフェスティバル、テレビ番組等に多数出演する。現在は和太鼓松村組の中核メンバーとして、コンサートの構成・演出を手掛けるほか、ソロコンサートも行い、数多くのアーティストとコラボレートを精力的に行っている。平成21年度兵庫県坂井時忠賞受賞。



松村組

1995年神戸で発足。和太鼓にマリンバや南米アンデスのフルクローレ音楽を組み合わせ、独自の音楽を展開する。2009年より、ジャンルを問わず独自の音楽をさらに追求すべく、和と世界の交響音楽をコンセプトとし、新たなスタートを切る。2002年サッカーワールドカップ（神戸大会）でのオープニング記念演奏をはじめ、オーストラリア、ヨーロッパ、中東諸国、韓国などでもコンサートを展開し、日本国内のみならず海外でも多くの観衆を魅了している。日本の太鼓をベースに、世界各地の音楽を調和・融合させることにより、「音楽に国境はない」「世界はひとつである」ということを全世界に発信していくことを目標としている。平成15年度兵庫県芸術奨励賞受賞。CD「神戸発」「碧空へ」「星祭」「華蓮2008」及びDVD「風大陸」「ジュピター」をリリース。

チケット取扱先：

松方ホールチケットオフィス 078-362-7191

神戸国際会館プレイガイド 078-230-3300

サウンドアイ 078-856-5806

ローソンチケット

0570-084-005(Lコード53707)

0570-000-777(オペレーター予約・10時~20時)

松村公彦

大阪芸術大学演奏学科打楽器専攻課卒業。

1995年に和太鼓松村組発足。和太鼓にマリンバやケーナ、チャランゴ、二胡など、民族楽器を取り入れたオリジナル曲の作曲を担当し、ジャズダンスやクラシックバレエなど、様々なジャンルとのセッションも積極的に行っている。津軽三味線奏者木下伸市（現木乃下真市）氏、チェン・ミン氏など様々なアーティストと共に演。テレビ番組テーマ曲の制作、コマーシャル出演、作曲や技術指導、講演など幅広い活動を行っている。2001年度神戸市文化奨励賞受賞。



渡部勝喜

10代の頃より南アメリカ・アンデス山脈地方に伝わるフルクローレに魅せられ、多くの民俗楽器の奏法を独学でマスター。



インカ帝国時代より伝わる葦笛“ケーナ”を始めとする各種管楽器から弦楽器、打楽器群に到るまで十数種類にも及ぶ楽器を使いこなす。南米各国に於けるTV・ラジオ番組や主だったフェスティバル、ライヴハウスなどの活動実績により「マエストロ」の称号を取得、その経験を生かしフルクローレの普及に努めている。松村組の中核メンバーとして10数年、楽曲の旋律を担当する傍ら、南米民俗音楽と和太鼓を融合させた作曲展開でも高い評価を受けている。

